

# 森づくり 支援倶楽部

倶楽部会報誌

Vol.01

2006/12

ニュース

## スギ伐採式典が開催されました



# 都知事出席の下、 11月13日(月)スギ伐採式典を開催

多摩地域でのスギの本格的伐採に先立ち、青梅市柚木町内でスギ伐採開始式典を開催いたしました。

式典には、石原知事、地元の都議会議員、青梅市長の他、林業関係者らが参加いたしました。櫛かんざし美術館駐車場で列席者の挨拶をおこなった後、青梅市柚木地区の山林に移動し、そま入れ・植樹の催しが行われました。

そま入れ式では、樹齢49年、高さ24mに及ぶスギの木に、知事が「斧入れ」を行いました。3回大きく斧を入れた後、東京都森林組合の職員がチェーンソーを用い、木の傾きや方向を調整し、慎重に伐採いたしました。見事予定していた方向にスギの木が倒れると、拍手が沸き起こりました。



### 知事挨拶(抜粋)

ある世代の方は、覚えておいででしょうか、新しい童話が流行りまして、「昔、昔、その昔、しいの木林のすぐそばに、小さな小山があった。お天道様が出てきて、もしもし、スギの子、起きなさい。」という

スギを植林して、木も足りなくなっただけで林業を起こそうという歌でしたが、皆、発奮してスギを随分植えましたが、その後の林野行政が狂ってしまい、それだけでなく世界も狭くなり、材木も含めて色々な産物の国際的流通が始まり、日本の林業の戦略が狂ってきてしまったわけです。そういうわけで、間伐すべき作業が滞っていたり、外材の単価が安いものですから、国産の材木の流通が阻害され、その結果、せっかく植えたスギが育ちすぎて花粉を出すという体たらくになりました。

日本は昔のすばらしい木の文化をもっております。そういう点でも、行政を進めていく。その結果として、国産の材木がもっと活用されて、私たちの実生活の中で、木がもっと大幅に取り込まれていくような、そういう手立てになればと思っています。

皆さん、ご協力いただきまして、東京に限りませんが、国中に静かな被害をもたらしている。皆も死ぬわけじゃないから我慢していますが、これを起点に挽回していきたいと思っていますので、今後も皆さんあげてのご協力を賜りますようお願いいたします。

スギの伐採後は、花粉の少ないスギの木を植栽いたしました。植栽式には石原知事を始め、野村都議(議長代理)、古賀花粉症対策推進議員連盟会長、「花粉の少ない森づくり運動」発起人の一人である村山貢司氏、竹内青梅市長、地元幼稚園の園児9人が参加し、青梅市柚木地区の山林斜面で和やかに行われました。

この式典には、多くのマスコミが駆けつけ、より広く多くの方々にこの運動を周知することができました。

多摩の森林の約6割はスギ・ヒノキの人工林からなっておりますが、国産材の需要低迷のため、植林されたスギ林の伐採・植替えが遅れています。東京都は、今後10年間で1,200haのスギ林等の主伐を計画しています。多摩の地では、樹齢50年の木々を伐採し、これらを主に4mの柱材・4本に加工します。伐採後は、花粉の少ないスギ等を植栽することにより、樹種変更を図ることとしており、今後、本格的なスギ林の伐採を行ってまいります。

## 伐採式典プログラム

13:00 ~

(櫛かんざし美術館駐車場)

- ①知事挨拶
- ②都議会議長挨拶  
(代理 野村都議)
- ③青梅市長挨拶
- ④列席者紹介

13:40 ~

(青梅市柚木 3-1039)

- ⑤知事斧入
- ⑥スギの伐採  
(森林組合によるデモンストレーション)
- ⑦花粉の少ないスギの植樹

14:00 終了



列席者の方々



知事による「斧入れ」の様子



スギの伐採作業



見事に倒れたスギ



知事、都議会代表、議員連盟会長、  
青梅市長、運動発起人代表による植樹



園児による植樹

花粉の少ない森づくり  
**でんわ募金**  
 TEL:0990-5-13000

花粉の少ない森づくり運動の一環として、電話募金を行っております。上記の番号にダイヤルしていただくと、約2分間のメッセージがながれます。内容をお聞きいただくことで1通話105円の情報料が自動的に電話代と一緒に引き落とされ、東京都のスギ花粉発生源対策に役立てられます。

今回は、この運動の発起人でもある

気象予報士の「村山貢司」さんによるメッセージ  
 をご紹介致します。

「お電話ありがとうございます。気象予報士の村山貢司氏です。

東京都は4月1日から、『花粉の少ない森づくり運動』をスタートしました。私も、この運動の発起人代表として協力しています。

花粉症の問題は年々深刻化し、現在、首都圏では4人に1人が患者と言われております。患者さんの苦痛は言うまでもありませんが、社会的・経済的にも大きな損失となっております。

この原因は、戦後、大量に植林されたスギ林が、花粉を多く発生する樹齢30年以上になったことにあります。このため、皆さんからいただいた募金で、スギを切り出し、花粉の少ない森に変えていきます。

森づくりは一朝一夕にはできません。私たちの子供や孫の時代まで続く長い年月をかけた息の長い取組が必要です。

お電話いただいた皆様のお力添えを得て、『花粉の少ない森づくり』を進めていきますので、これからも協力をお願いします。村山貢司でした。」

このメッセージは9月30日をもって終了致しました

現在は、黒姫の赤鬼「C.W. ニコル」さんをお願いしております。(10月1日～)

**C.W. ニコル氏**

略歴：1940年英国ウェールズ生まれ エチオピア政府野生動物保護省猟区主任管理官就任。カナダ水産調査局淡水研究所主任技官等歴任ののち1980年長野県黒姫に居を定め、執筆活動を始め。1995年7月日本国籍取得。2002年C.W.ニコル・アフアの森財団を設立。2005年英国エリザベス女王陛下より名誉大英勳章を賜る。「風を見た少年」「魂のレッスン」「誇り高き日本人でいたい」他多数



でんわ募金にご協力よろしくお願い致します

■会員の皆さまへ

今後とも定期的に「花粉の少ない森づくり情報」を提供して参ります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。なお、「花粉の少ない森づくり募金」に協力していただいた方を本会の準会員とする規約の改正を予定しております。何卒、ご理解いただければ幸いです。

森林ふれ合い教室

「間伐体験と  
 冬の生き物観察(予定)」

開催日：平成19年1月未定  
 場 所：青梅市又は奥多摩町  
 内 容：林業体験と冬の生き物観察  
 募 集：50名程度(多数の場合抽選)  
 参加費：500円(緑の募金として)  
 ※森づくり支援倶楽部会員は無料

森林ふれ合い教室

「シイタケづくり体験」

開催日：平成19年3月24日  
 場 所：農林総合研究所1-日の出庁舎  
 内 容：シイタケづくり(種菌作業)など  
 募 集：50名程度(多数の場合抽選)  
 参加費：500円(緑の募金として)  
 ※森づくり支援倶楽部会員は無料

森林浴登山

「早春の八王子城趾(予定)」

開催日：平成19年3月未定  
 場 所：12月中に決定  
 内 容：森林観察とハイキング  
 募 集：50名程度(多数の場合抽選)  
 参加費：1,000円(緑の募金として)  
 ※森づくり支援倶楽部会員は無料

〈申し込み〉

往復はがき(FAXも可)に催し名、参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号、森づくり支援倶楽部会員番号を明記のうえ下記までお申し込み下さい。

(財)東京都農林水産振興財団 森の事業課  
 〒190-0013 立川市富士見町3-8-1  
 TEL:042-528-0641  
 FAX:042-528-0619

当財団では、都民の皆さまに森林とふれ合い親しんでいただくための各種イベントを企画・実施しております。お気軽にお問い合わせ下さい。

の  
ご  
案  
内

イ

ベ

ス

ト

財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局

〒190-0013 東京都立川市富士見町3-8-1

TEL:042-528-0505 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>